

# 決算報告会

2020年10月30日

株式会社カインス  
代表取締役社長  
上地 史朗

# 2020年度 情報開示

- |   |               |
|---|---------------|
| 1. 2020年 3月期 決算短信(非連結)                      | (2020年 5月 8日) |
| 2. 役員の変動に関するお知らせ                            | (2020年 5月26日) |
| 4. コーポレート・ガバナンスに関する報告書                      | (2020年 6月19日) |
| 6. 有価証券報告書                                  | (2020年 6月19日) |
| 7. 内部統制報告書                                  | (2020年 6月19日) |
| 8. 臨時報告書                                    | (2020年 6月22日) |
| 9. 2021年3月期第1四半期決算短信                        | (2020年 7月27日) |
| 10. 2020年第1四半期報告書                           | (2020年 8月 3日) |
| 11. 支配株主等に関する事項                             | (2020年 8月21日) |
| 12. 臨時報告書の訂正報告書                             | (2020年10月 9日) |
| 13. 第2四半期業績予想と実績との差異及び<br>通期業績予想の修正に関するお知らせ | (2020年10月26日) |
| 14. 2021年3月期第2四半期決算短信                       | (2020年10月26日) |

# 2020年度情報開示

第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

(情報開示日:2020年10月26日)

2021年3月期第2四半期累計期間個別業績予想と実績との差異(2020年4月1日~2020年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	2,100	220	220	140	33.48
今回修正予想 (B)	2,086	320	325	200	48.06
増減額 (B)-(A)	△13	100	105	60	-
増減率 (%)	△0.7	45.5	48.2	43.5	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	2,277	321	321	221	54.76

# 2020年度情報開示

第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

(情報開示日: 2020年10月26日)

2021年3月期通期個別業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

(単位: 百万円、%)

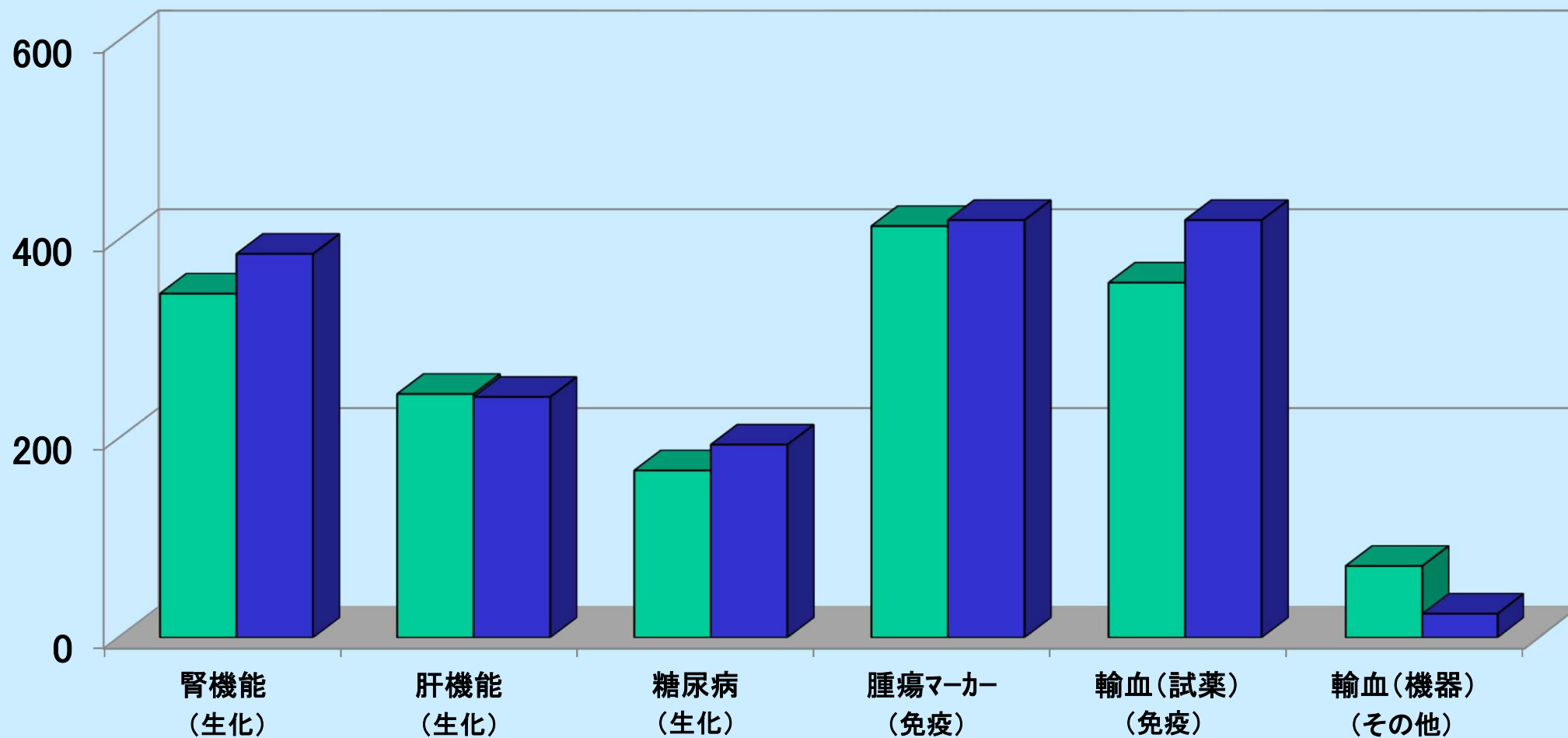
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	4,500	450	450	300	71.74
今回修正予想 (B)	4,500	650	650	450	107.61
増減額 (B)-(A)	-	200	200	150	-
増減率 (%)	-	44.4	44.4	50.0	-
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	4,609	608	616	398	97.09

# 2020年度上期決算

売上高(主要検査分野別)

(単位:百万円)

■ 予想 ■ 実績



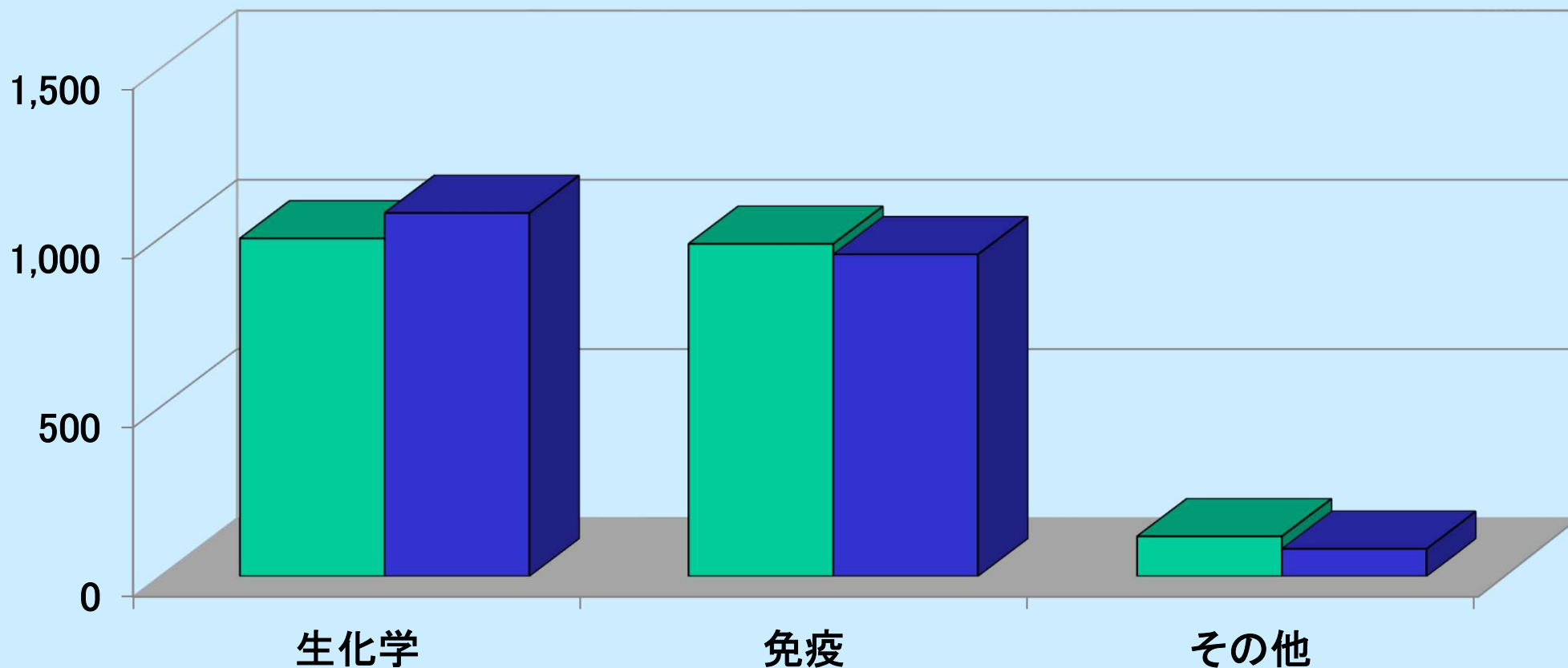
# 2020年度上期決算

売上高(検査分野別)

(単位:百万円)

■ 予想 ■ 実績

予	想	: 2,100
実	績	: 2,086

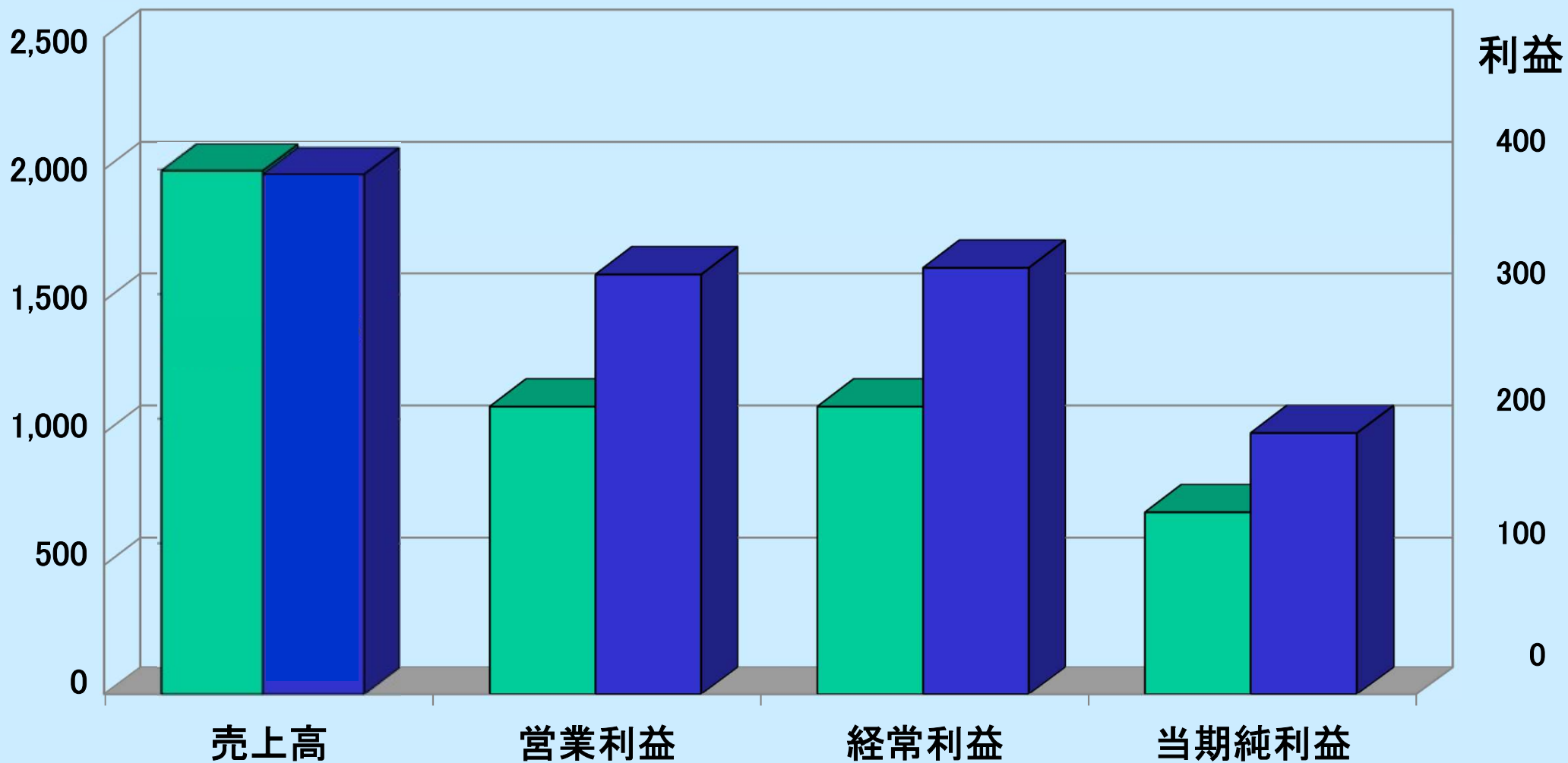


# 2020年度 上期決算

売上高

■ 2020年度予想 ■ 2020年度実績

(単位:百万円)



# 2020年度 上期決算

(単位:百万円)

		2020年度 上期 予想	2020年度 上期 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	製品	1,743 (83.0%)	1,818 (87.2%)	75	4.3
	商品	357 (17.0%)	268 (12.8%)	▲88	▲24.9
	計	2,100 (100.0%)	2,086 (100.0%)	▲13	▲0.7
営業利益		220	320	100	45.8
経常利益		220	325	105	48.2
当期純利益		140	200	60	43.5



# 2020年度 上期決算

(単位:百万円)

		2019年度 上期 実績	2020年度 上期 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	製品	1,882 (82.7%)	1,818 (82.7%)	▲64	▲3.4
	商品	394 (17.3%)	268 (17.3%)	▲126	▲32.1
	計	2,277 (100.0%)	2,086 (100.0%)	▲191	▲8.4
営業利益		321	320	▲0	▲0.2
経常利益		321	325	4	1.4
当期純利益		221	200	▲20	▲9.2

# 2020年度の課題と対策(上期結果)

## 1. 生化学試薬

1) 重点項目シェアUP (CRE、UN、UA、IP、Ca、Mg、GL、TP、ALB)

・リキッドキャリアブレーターの活用による重点拡販

目標 : 2,000施設 (現在1,822施設)

⇒ 2020年9月末時点 1,865施設

年間売上: 1,180M ¥ (2019年度 1,100M ¥)

⇒ 上期結果546M ¥、下期目標635M ¥

# 2020年度の課題と対策(上期結果)

## 1. 生化学試薬

### 1) 重点項目シェアUP (CRE、UN、UA、IP、Ca、Mg、GL、TP、ALB)

・CRE: トップシェアの奪取

目標: 1,000施設

※基幹施設への拡販

⇒2020年9月末時点721施設

1) 9/5 日本医学検査学会

CREIV試薬を報告

医学と薬学5月号に投稿

2) 10/31 日本臨床化学学会年次学術集会

CRE試薬測定における測定精度とeGFRへの影響

# 2020年度の課題と対策(上期結果)

## 2. 輸血項目の拡大

### 1) 機器拡販

- ・機器使用施設: 400施設へ設置

⇒既存294施設+新規11施設設置(合計305施設)

- ・学会での展示、ユーザーデモの実施

⇒JACLaS EXPO2020 開催中止により  
予定していた機器展示中止

⇒ユーザーデモ10施設実施

- ・Eflexis中心に総合提案

⇒施設状況別に運用提案実施

提案数 : 25施設

採用数 : 11施設

継続提案数: 10施設

不採用数 : 4施設



# 2020年度の課題と対策(上期結果)

## 2. 輸血項目の拡大

### 2) 顧客満足度の向上

- ・サーベイ実施

⇒8月施設向けご案内、11月実施予定(参加295施設)

- ・学会でのセミナー実施

⇒第68回日本輸血・細胞治療学会学術集会

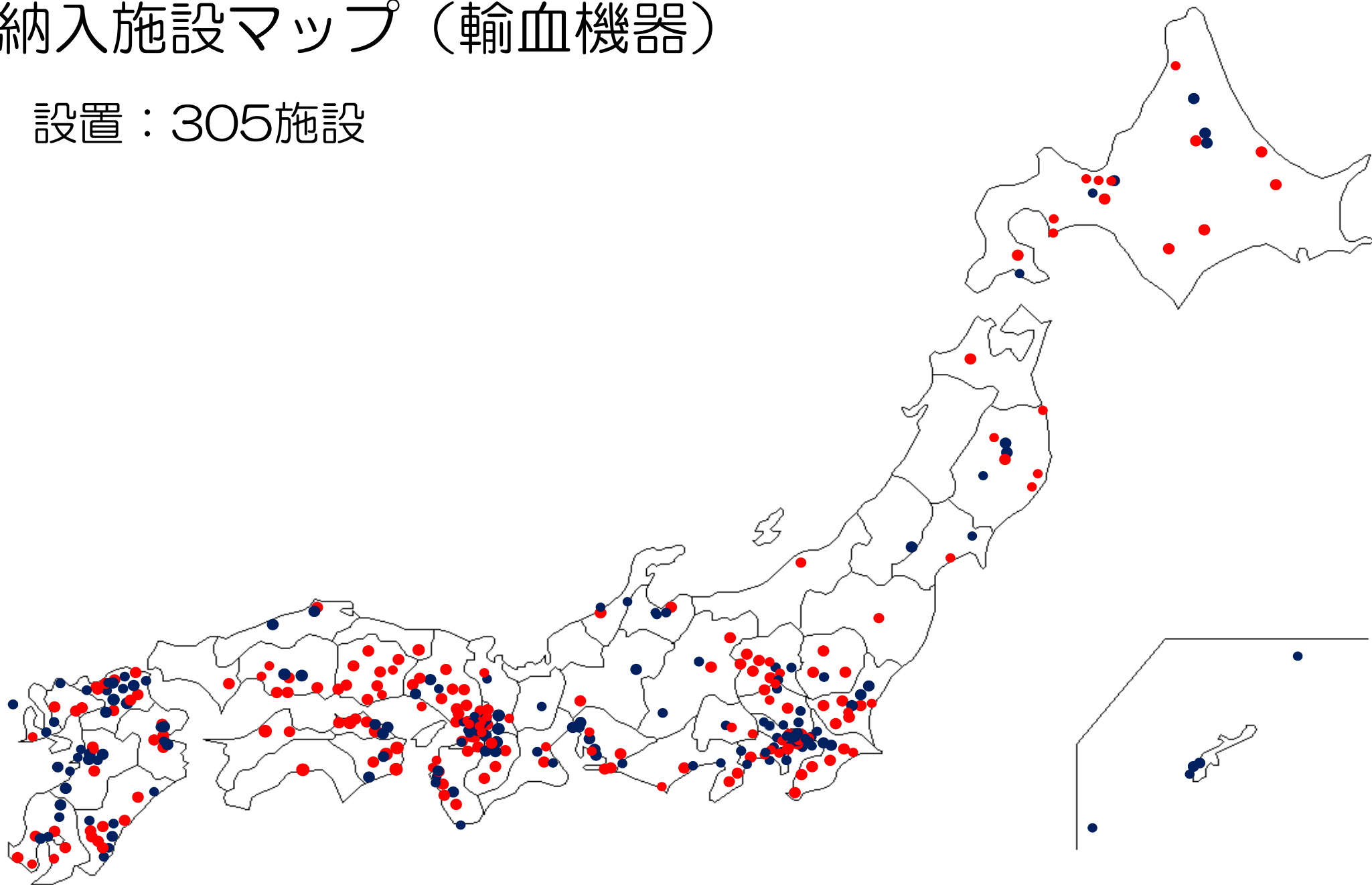
予定していたランチオンセミナー中止

- ・学術資料の定期的配布

⇒Bloodニュース1回発行(6月)

# 納入施設マップ（輸血機器）

設置：305施設



# 2020年度の課題と対策(上期結果)

## 3. 新型コロナウイルス感染拡大による売上影響について

現状) ・外来患者数の激減に伴い、売上ベース減  
(1/4期予想: 生化学、POCT: 30%減、輸血検査: 20%減)

・病院訪問規制による拡販活動の停滞

顧客からの要望に基づく対応、在宅勤務

対策) 感染終息後の活動方針として

・生化学項目の早期採用を重点的に活動

・輸血機器: 今年度ターゲット施設の確実な採用

⇒ 上期: 生化学: 10%減、POCT: 80%減、輸血検査: ±0

病院訪問規制に順応した対応

・TEL、メールによるアポイント訪問を実施

・Webを活用した情報提案活動を計画

# 2020年度の課題と対策(下期課題)

## 1. 生化学試薬

### 1) 重点項目シェアUP (CRE、UN、UA、IP、Ca、Mg、GL、TP、ALB)

- ・リキッドキャリブレーターを活用による重点拡販

目標 : 2,000施設 (現在1,865施設)

年間売上: 1,180M¥ (2019年度 1,100M¥)

- ・CRE: トップシェアの奪取

目標: 1,000施設

※大学病院、基幹施設への拡販

※関東地区大学病院で共同治験中

### 2) ALP、LDのIFCC基準測定操作法への置換

- ・2021年3月までに完了



# 2020年度の課題と対策(下期課題)

## 2. 輸血項目の拡大

### 1) 機器拡販

- 機器使用施設: 400施設へ設置
- Web勉強会、リモート機器見学の活用
- Eflexis中心に総合提案
- ReaderNet活用によるセミオート拡販

### 2) 顧客満足度の向上

- サーベイ実施
- 学会でのセミナー実施
- 学術資料の定期的配布



# 2020年度の課題と対策(下期課題)

3. 新型コロナウイルス感染拡大による売上影響について  
現状) ・外来患者数の減少による売上ベース減  
(上期: 生化学: 10%減、POCT: 80%減、輸血検査: ±0)  
・病院訪問規制による拡販活動の停滞  
顧客からの要望に順応した対応

## 対策) 今後の活動方針

- ・訪問とWebを融合させた情報提供活動
- ・機器メーカーとの協調体制の構築
- ・POCT: 代理店との協調対応
- ・ADAMTS13 保険点数増点インヒビター—600→1,000点  
啓蒙活動の継続
- ・フェリチン改良品上市 2年後100M ¥

## トピックス (1)

抗AAV抗体測定キットの開発

遺伝子治療研究所との資本提携・共同開発

AAV : アデノ随伴ウイルス (Adeno-associated virus)

## 遺伝子治療とAAVベクター

### • 遺伝子治療

遺伝性疾患(パーキンソン病、血友病、他)の治療を目的として遺伝子又は遺伝子を導入した細胞を人の体内に投与すること

### • AAVベクター：患者体内への目的遺伝子の運び屋ウイルス

- (1) 安全性：非病原性・自己複製せず副作用なし
- (2) 安定性：導入遺伝子が長期間発現する
- (3) 有用性：いろいろな細胞へ遺伝子導入が可能



### • 抗AAV抗体の測定（診断薬の開発意義）

健常人の多くはAAVに不顕性感染し抗体を有しており、AAVベクターを用いた遺伝子治療の効果予測や投与判断の補助として、患者の抗体価を事前に測定する事が重要

## 遺伝子治療研究所について

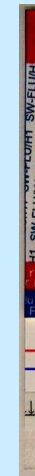
安全性や持続性及び遺伝子導入性に優れ、遺伝性難病や希少疾患の治療適用が期待されている、アデノ随伴ウイルス(AAV)ベクターを利用した、日本発の遺伝子治療薬の開発及び製造企業

### 概要

- (1) 名称 : **株式会社遺伝子治療研究所**  
Gene Therapy Research Institution Co.,Ltd, (GTRI)
- (2) 本店所在地 : 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-22  
ライフイノベーションセンター414
- (3) 代表者名 : 代表取締役 浅井 克仁
- (4) 事業内容 : 遺伝子治療技術の研究開発及び治療薬の開発、製造
- (5) 資本金 : 3億8,750万円 (2020年5月現在)
- (6) 設立年月日 : 2014年5月16日
- (7) 従業員数 : 25名 (2020年5月現在)

## トピックス (2)

NASBA-核酸クロマト法を利用した  
新型コロナウイルス遺伝子検出試薬の開発状況



## 新型コロナウイルス遺伝子検出試薬の開発状況

- NASBA増幅 - 核酸クロマト検出系の構築完了
- 体外診断用医薬品化の状況

当初予定していた感染研パネル入手ならず  
医薬品医療機器総合機構(PMDA)へ複数回相談実施

PMDAから検査薬企業対象に説明会開催(2020/9)

- \* 今後の課題：インフルエンザウイルスとの鑑別診断対応  
新型コロナウイルス及びインフルエンザA/Bの同時検出への高い関心・需要

外部施設における性能評価試験準備中

データ取得後，製造販売承認申請予定（目標12月）

# 2020年度予想

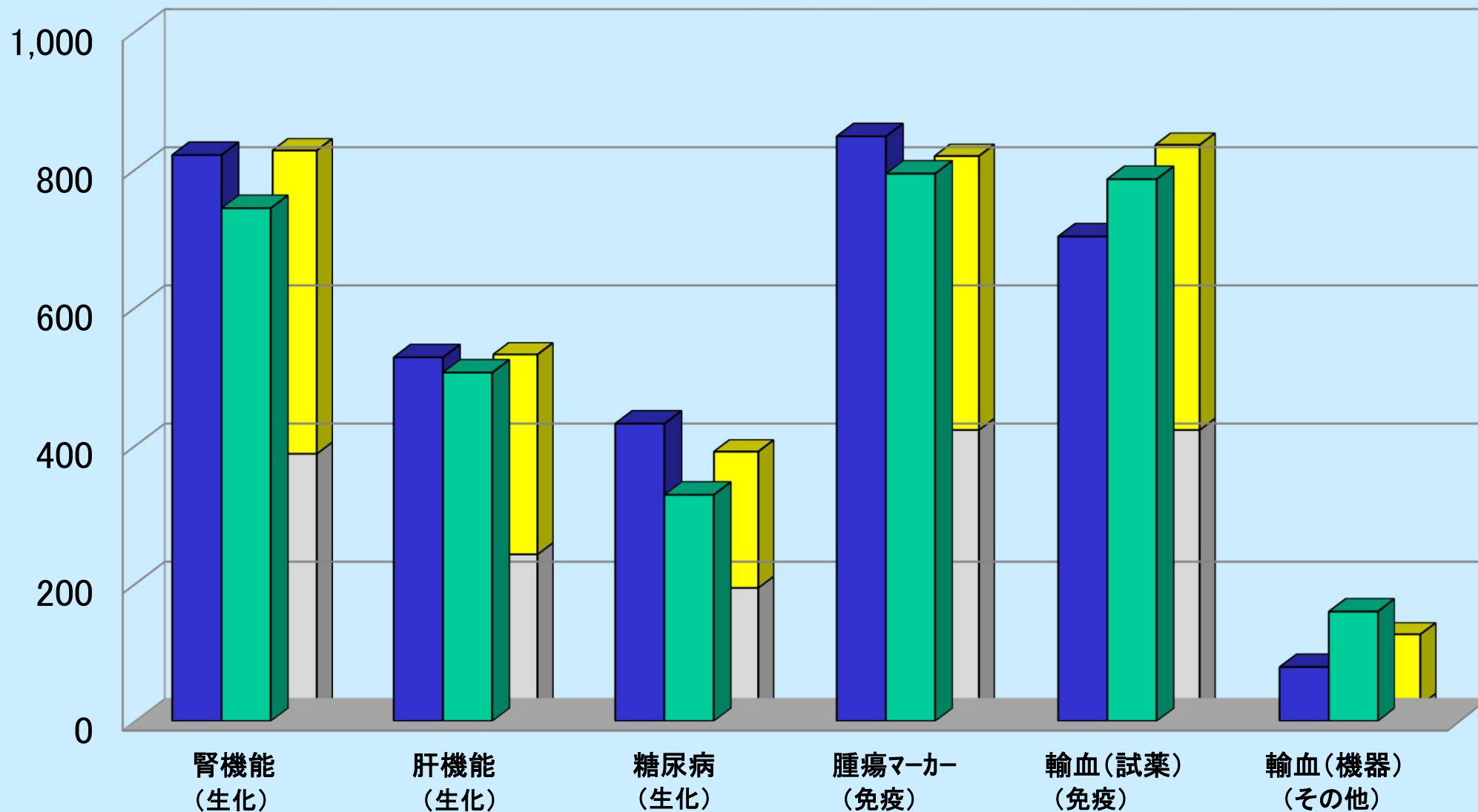


# 2020年度予想

売上高(主要検査分野別)

(単位:百万円)

■ 2019年度実績 ■ 2020年度当初予想 □ 2020年度上期実績 ■ 2020年度下期予想



# 2020年度予想

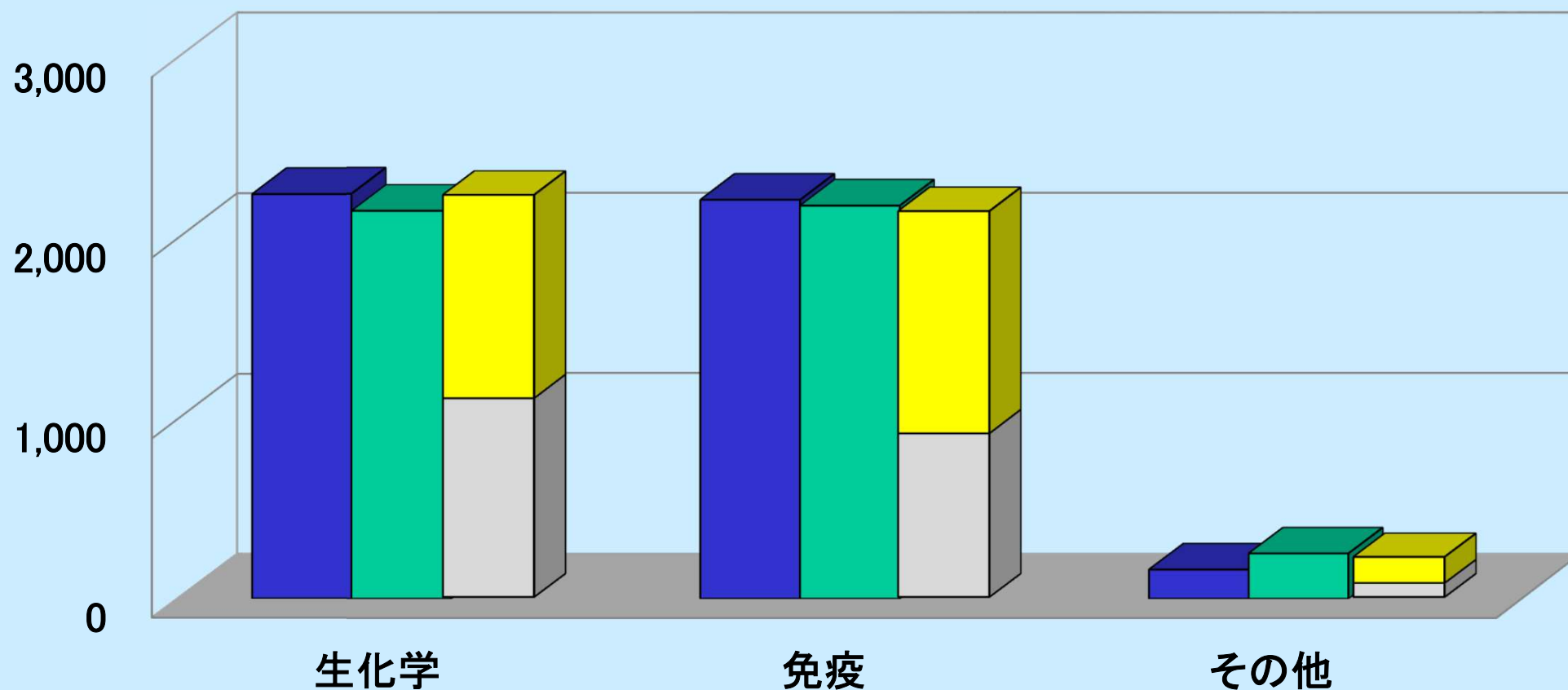
売上高(検査分野別)

(単位:百万円)

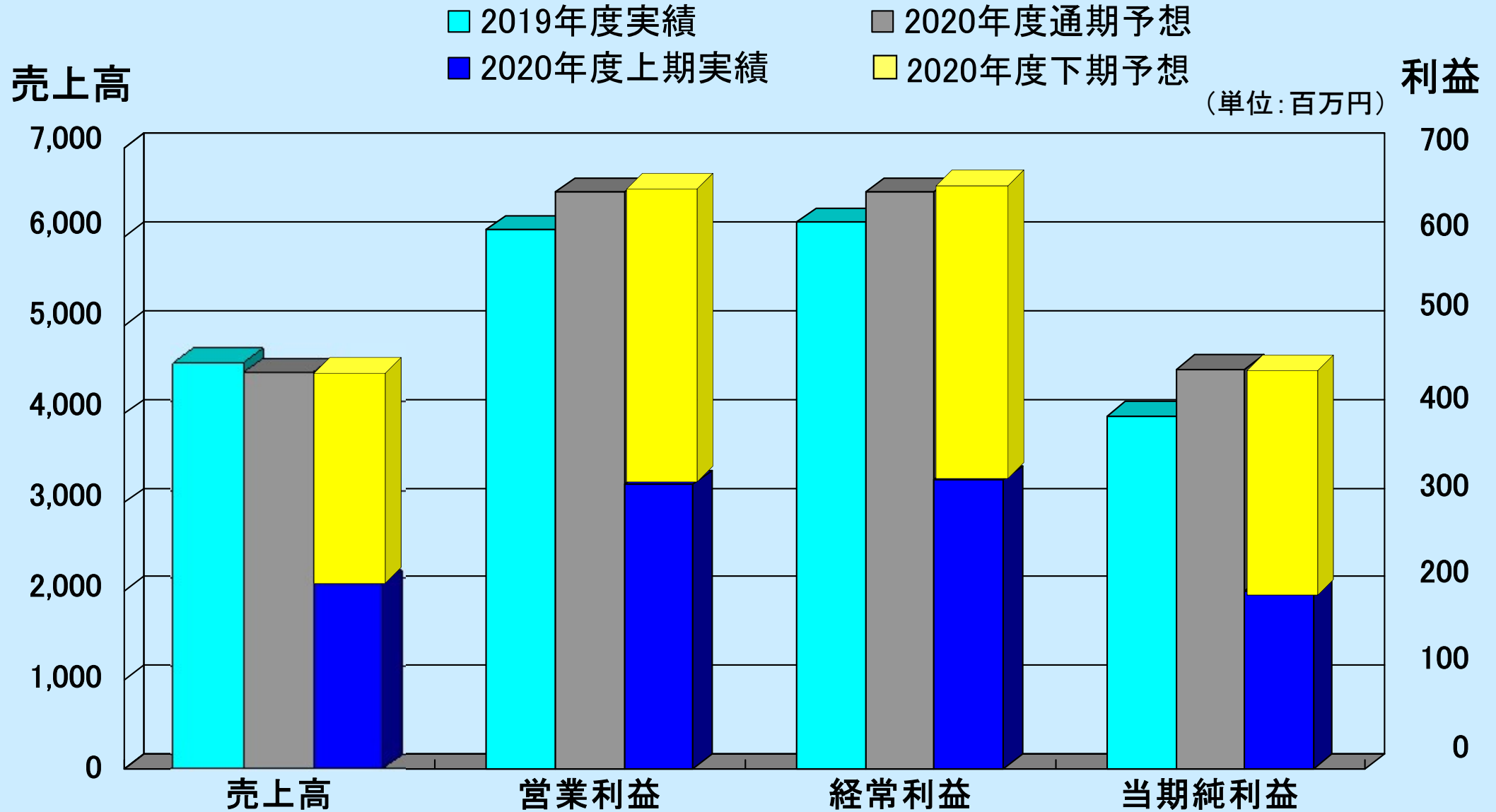
■ 2019年度実績 ■ 2020年度当初予想 □ 2020年度上期実績 ■ 2020年度下期予想

前年実績 : 4,609

予 想 : 4,500



# 2020年度 通期予想

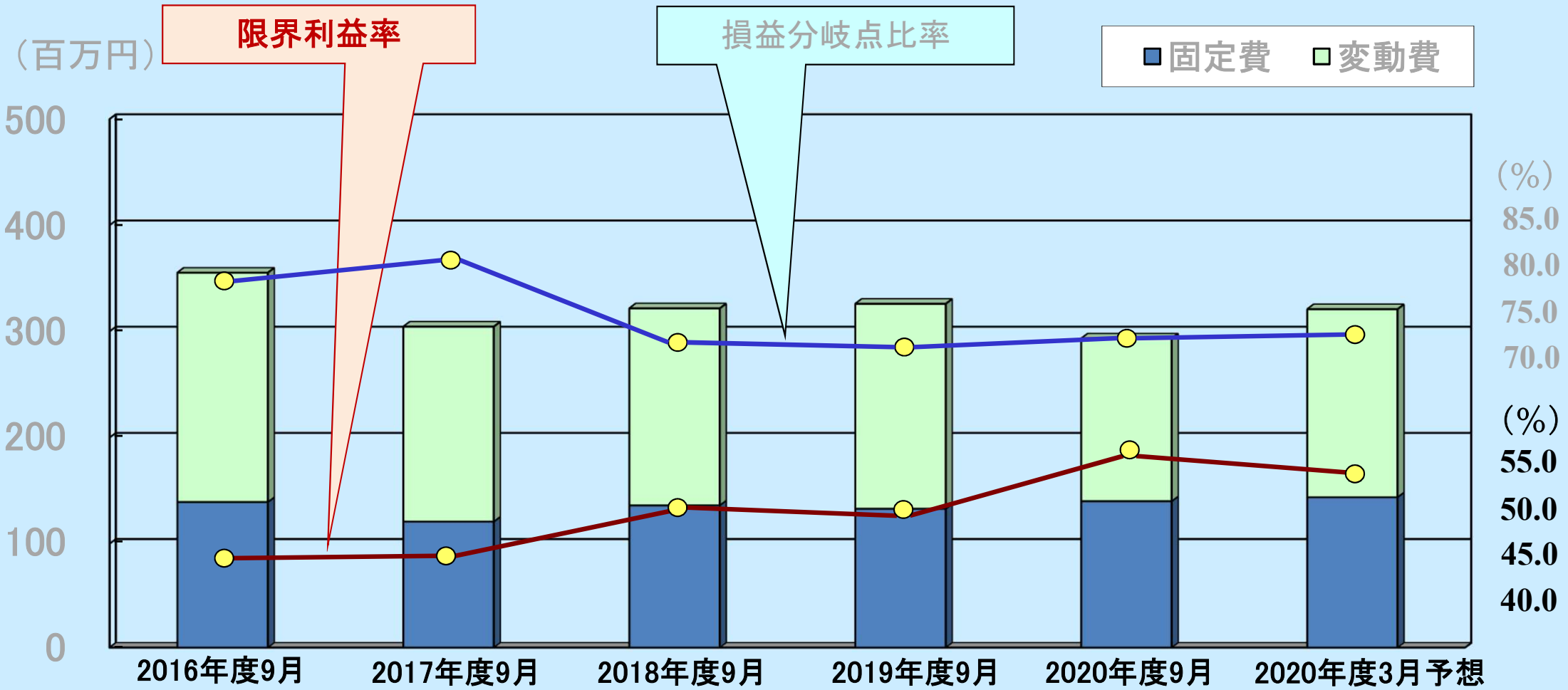


# 2020年度 通期業績予想

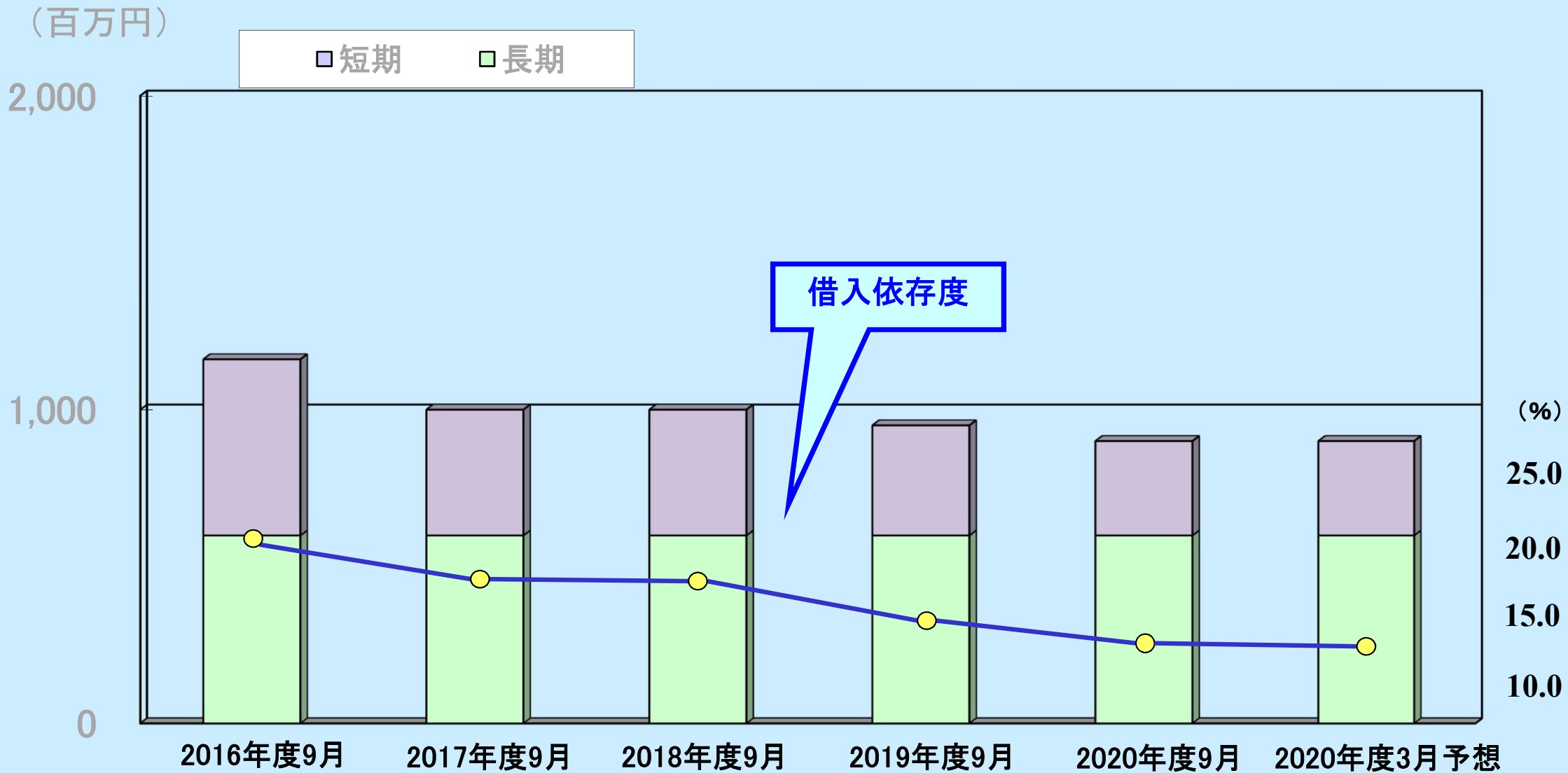
(単位:百万円)

		2019年度通期 実績	2020年度通期 予想	増減額	増減率 (%)
売上高	製品	3,661 (79.4%)	3,700 (82.2%)	38	1.0
	商品	947 (20.6%)	800 (17.8%)	▲147	▲15.6
	計	4,609 (100.0%)	4,500 (100.0%)	▲109	▲2.4
営業利益		608	650	41	6.8
経常利益		616	650	33	5.5
当期純利益		398	450	51	12.9

# 損益分岐点の推移



# 有利子負債の状況



**Creative Power & Innovation**  
Creative Power & Innovation

**KAINOS**  
KAINOS LABORATORIES, INC.